



# 東海中新聞

NO. 375  
令和4年9月号

9月16日に東京五輪ソフトボール金メダリストの **さんと** **さん**に講演していただきました。なお、開催にあたり、**山綱町の様**の寄付金を使わせていただきました。ありがとうございました。

校長 今枝武司

## 自己決定を 謳歌しよう

目指します。生徒に自由を与えると荒れるというのは単なる偏見だと私は確信しています。大人が考えるより生徒は柔軟で常識的だからです。

ある時、女子生徒が「私はこういう髪型がしたいのですが、これは校則違反ですか」と聞きにきました。私は「東海中学校は髪型に関しての校則はなくしました。どんな髪型でもいいよ」と答えました。その女子生徒は「ああ、よかったです」と髪型のことを説明してくれて笑顔で帰っていきました。安心したんだろうと、彼女や周りの生徒たちの笑顔を見て和んだ気持ちになりました。

その雰囲気を作るのに、一番大切なのは、教員が自由だということ。本校の教員は授業や学年・学級経営のために様々なアイデアを出してきます。それにほとんど「ノー」と言いません。そうすると、自分のキャラを活かして試行錯誤しながら進んでいきます。教員が自由だと、時代の変化を感じ取り、授業にも時代の空気を織り込みます。そうすることで、自然と時代に対応した学校になっていくということです。

本校でも以前は、男子は丸刈り、女子はおかつぱが髪型の主流でした。卒業アルバムで確認すると平成四年から丸刈り・おかつぱが減っていました。それから三十年、時代の変化もあります。今は髪型を規制しません。自分で考え決定していく時代だからです。

先日の生徒会役員選挙の立会演説会で『学校のイメージを「決められたことを守る場所」から「自分たちで考え行動する場所」に変えたい』や『今の当たり前が「決めつけ」や「偏見」ならば、どんどん変えていきたい』と演説した生徒がいました。ものすごく頼もしく感じましたし、自己決定の場を多く経験し、自己決定するということを謳歌してほしいと思いました。

生徒がリラックスして、ありのままの自分でいられる学校を創ることが、生徒たちの能力を引き出す一番の方法だと思います。そのために不都合だと思いきまりは躊躇なく変更してきましたし、今後も可能であれば変更し、いわゆる「規則に縛られないゆるい学校」を

私に髪型を聞きに来た女子生徒は、心配になり、自分で進んで聞きに来ました。そこが素晴らしいと思いました。自分で考えて行動したからです。きっと、彼女も自己決定をし、お気に入りの髪型にしてくることでしょ。

# 新人戦の決意

## チームの強みを生かして

### 女子バスケット部

私たちはバスケット初心者の多いチームです。二年生は五人と少ない人数ですが、一年生に支えられながら、みんなですっきりと声を出し合って練習に励んでいます。私たちの強みは、諦めないガッツと人数が少ないからこそその絆の強さです。新人戦での目標は初戦突破です。みんなで声を出し合い、一人一人のプレーを讃え合い最後まで戦います。チームの強みをしっかりと生かして新人戦に臨んでいきます。

## 自信をもって

### 女子陸上部

私たち陸上部は、個人競技なので、一人一人が違う目標をもって日々の練習に取り組んできました。でも、目標が違うからこそ、お互いが励まし合ったり、支え合ったりすることがとても大切でした。

なかなかタイムが縮まらず苦しんだり、暑い夏の練習に心が折れそうになったりした時、部活のみんなで頑張ってきたことで、新人戦に向けて心と体の準備ができたと思えています。なので、自信をもって新人戦に挑みます。

## あきらめない

### 女子バレー部

バレーボールはチーム戦です。だから、仲間のことを信頼してプレーをする必要があります。キャプテンであるからこそ、仲間が一番信頼されたいです。試合をした時、すごく点差が開いてしまったら、どんな試合でも、どんなに強い相手でも、最後の一点を相手にとられるまで、絶対にあきらめません。



日々の練習で一本一本のボールを大切に、全力で取り組み最後の一点までボールをつなげます。そして、私たちはベスト4に入ります。

## 思いを一つに

### 男子陸上部

僕たち陸上部は、新チームになってはじめての大会である新人戦に向けて、切磋琢磨し合って練習に取り組んできました。今までは、先輩の背中を追ってきましたが、この新人戦からは、僕たちが中心となる番です。緊張感もありますが、それも一つの力に変えて、新人戦に挑みたいと思っています。

陸上は、個人種目が多いスポーツですが、一人一人の力がチーム全体を支えます。思いを一つにして、ベストを尽くせるよう頑張ります。

## 活動困難な中で

### 卓球部

三年生が引退して、二年生五人、一年生七人の新チームでがんばっています。先輩と築いた練習方法を引き継ぎ、それをもとに新しい練習方法を考え、実践してきました。一年生は初心者ばかりなので、先生や僕たち二年生が打ち方などを教えながら練習しています。先生方や応援してくれる保護者の方への感謝を忘れずがんばります。



## 自分のできることを全力で

### 男子剣道部

僕が剣道部に入学して早三か月、ほとんど毎日休まず素振りをするなど努力してきました。基本的な打ちを覚えて、最近では実戦形式の稽古も始まりました。相手の動きを見てその

場にあった打ちを使うように心がけてきました。

初めての大会まであと少しです。僕は背が低いけれど低いからこそそのメリットがあります。今自分のできる打ち全てで相手に立ち向かいたいです。また、剣道部みんなで決めた目標の「声を出す」、「自分から打つ」ということを貫き通し、自信をもって戦います。

## 新人戦優勝

### 男子バレー部

僕たちは「新人戦優勝」を目標に練習をしてきました。今年の市長杯で負けてから、基礎が足りないことを課題に挙げ、練習してきました。パスの高さ、スピード、コースなどあらゆる面で完璧を求めています。バレーだけでなく、あいさつ、行動の早さなどの生活面でも応援されるチームになります。まずは新人戦で優勝できるように、仲間と声をかけ合い、一つ一つ丁寧に勝ちを狙います。

## めざせベスト8

### 女子剣道部

先輩たちが引退し、二年生四人、一年生三人という少ない人数の中で

お互いに励まし合いながら練習してきました。

私たちは新人戦で「ベスト8進出」を目標にしています。そのために、自分の得意な技を迷わず自信をもって打ち、相手よりも大きな声を出して、一本決めます。

人数が少ないからこそ、チームで助け合い、一本一本を大切にして全力で戦い勝ちに行きます。

### 西三大会、そして県へ ソフトテニス部

三年生が引退して新チームがスタートしました。僕たちソフトテニス部は、新人戦に向けて基本練習とランニングを全力でやってきました。基本練習は大会だと思つて、ミスしないように全力でがんばりました。



そのおかげで八月に行われた個人戦では多くのペアが良い結果を残すことができ、団体戦の第一シードをチームで取ることができました。団体戦の目標は県大会出場です。大会に出るメンバーだけでなく、チーム全員で一丸となつて戦います。

### 新人戦に向けて 野球部

僕たち野球部は新チーム結成後、「凡事徹底」を部のテーマとして練習に取り組んできました。少ない部活動の中で、質の高い練習を行うことを意識し、少しずつ個々のレベルを上げてきました。また、キャプテンとして、チームを盛り上げるために、積極的に声掛けをしていきたいと思っています。新人戦では、日々の練習の成果を出し、一試合一試合全員で戦っていきます。

### 一勝でも多く 男子バスケット部

二年生が引退し、新チームになってからの夏は、疲れきるまでボールを追いかけ、苦しい時に粘って走ることをしてきました。まだまだバラバラのチームですが、少しずつ形になってきています。

チームの目標は県大会出場です。そのゴールに向けて、チーム全員で「粘走」を意識し、粘って走り続け一勝でも多く勝ち上がりたいたいと思います。そして、次の新人戦では全勝し、岡崎のトップに立ちたいと思います。



今年度も様々な制約の中、大会を行います。応援の保護者の方には、各部からお願いを出させていただきますが、体調記録表・行動履歴書の準備をお願いします。初戦の組み合わせ・日時・場所は以下の通りです。(詳しい組み合わせはホームページに掲載しています)

★野球	9/28 対額田	龍北G	★男子バスケ	9/28 対六美北	中総体育館
★女子バスケ	9/28 対六美北	中総体育館	★男子バレー	9/29 対北	竜海中
★女子バレー	9/29 対六美	中総体育館	★男子剣道	9/28 対附属	中総武道場
★女子剣道	9/28 対甲山	中総武道場	★卓球	9/28 対矢作北	市体育館
★テニス	9/28 対常磐	中総庭球場	★陸上	9/28	龍北総合運動公園
★水泳	9/28	安城総合公園内プール			

※応援は1・2年生の保護者のみです。原則、生徒一人につき、屋内競技は保護者一人、屋外競技は保護者二人でお願いします。詳しくは、顧問から連絡があります。

## 全国大会出場

### 困難を乗り越えた全中 三年三組

八月十七日から始まった全国大会への旅。福島県へ新幹線で向かう途中、私は不安な気持ちと楽しみな気持ちがありました。

今までは愛知県内の大会出場がほとんどで、全国大会という舞台が始めてだったからです。

最初の種目である一〇〇mハードルは普段よりタイムが悪かったものの、楽しかったので笑顔で終わりました。でも、二種目目の走り高跳びではベストよりも8cm低い高さしか跳べず競技終了後は泣き崩れました。

そんな私を助けてくれたのはサポート役の ちゃん、学校の先生方、そして家族でした。周りの方々が前向きな言葉をかけてくれたので、私は四種競技をやりきることができました。

今後も陸上を続けるので、感謝の気持ちを忘れず、高校ではインターハイに出場できるように頑張ります。応援ありがとうございます。



# トレセン参加

## トレセンで学んだことを活かして

### 二年一組

僕はトレセンに参加してリーダーシップについて学びました。

いろいろな学校の人たちと意見を交わすことで僕が気づいたことは、一人一人が気づき・考え・実行することが大切だということです。目的や成果を達成するためには、たった一人のリーダーだけではうまくいきません。みんながリーダーシップをもち、何をしたらいいのかを一人一人が考えて動くことが必要だということに気づきました。これは学校や学年の中でも大切なことだと思います。

だから、一つのことを成し遂げるには、みんなの力が必要で、また、みんなが「やさしさ」、「思いやり」の心をもつことで、もっと素晴らしい学校生活を送ることができると思います。自分何ができるのか分からないけど、これからの学校生活の中で、それらのことを考え、行動していきたいです。



# 生徒市議会参加

## アウトレットを憩いの場に

### 三年四組

八月上旬に全中学校の代表生徒が集まり、中学生の視点で岡崎市の将来に向けた質問や提案をする生徒市議会が行われた。東海中からは僕を含めた三人の生徒が参加した。

僕たちは、建設が予定されているアウトレットに東海学区の歴史を感じられる場所や、小中学校の音楽部や吹奏楽部が演奏を披露することができるイベントスペースを設け、アウトレットを憩いの場にすることを提案した。しかし、総合政策課からは「アウトレットは市のものではなく、民間事業者が運営をするため直接かかわることは難しい」と回答があった。ただ、市も民間事業者に提案し、僕たちの意見が反映されるように努力をしてくれると聞いて、うれしく思った。

生徒市議会への提案を通して、提案するだけではなく、自分ができるところを実行し、岡崎市の将来に積極的にかかわっていききたいと強く思った。



# 表彰記録

## 第六二回岡崎市民剣道大会

### 第二位

### アーチェリー長月杯

### 十八 m / 十二 m 部門

### 優勝

## 岡崎市民卓球大会

### 第三位

## 第二六回「藤川宿を詠む」俳句

## 岡崎市教育委員会賞

## 「棒鼻は歴史のなごり松落葉」

## 第七六回愛知県中学校総合体育大会

### 準優勝 一〇〇 m H

## 第四四回東海中学校総合体育大会

### 第四位 一〇〇 m H

## 愛知県吹奏楽コンクール

### 西三河北地区大会

### 金賞

## 岡崎市教育委員会部活動奨励賞

### 奨励賞

## 第四七回中部ジュニア

### ゴルフ選手権大会本戦

### 第六位

## 第十五回全日本

## ジュニアテコンドー選手権大会

## プムセ 有段個人 中学生女子の部

### 第三位

## 第二八回岡崎幸田中学校新人

## ソフトテニス選手権大会

### 優勝

# 教育随想 やまなみ

## 授業の主語は生徒

### 研究主任

本校の研究発表会が間近に迫っている。授業研究にあたって職員間で大切にしてきたのは、生徒を主語にして授業を語ることだ。「教師がどう教えたか」ではなく、「生徒は何を学んだのか」「生徒はどんな力を身に付けたのか」などの視点で協議を重ね、よりよい授業を目指してきた。「チーム東海」での授業研究は大変有意義で楽しいものである。

東中生の自立的・共生的に学ぶ姿とその成長には目を見張るものがある。発表会当日は、一人でも多くの方にその魅力溢れる姿をご覧いただきたい。同時に、生徒にとっては、発表会翌日も通常通りの大切な授業は続く。発表会当日にいただく多くのご意見やご指導を参考にして、翌日の授業もよりよい授業を目指したいと考えている。

「生徒はどんな表情で学び、どんな議論を繰り広げるのだろうか」生徒を主語にして思いを馳せると明日の授業も楽しみになる。意欲的に学ぶ素晴らしい東中生と共に授業が創れる日々を、私は心から幸せに思う。